

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。すっかり初夏の雰囲気ですね。すこしやうすい季節ですが、もうすぐ梅雨入り。くれぐれもご自愛ください。

東日本大震災が発生してからふた月半。地震・津波・原子力発電所事故の被害に遭われた皆さんの支援に引き続き全力を尽くしていますが、そのほかの問題にも取り組まなくてはなりません。

先月末から今月初めに掛けて発生した食物中毒事件。これも厚生労働副大臣としての僕の担当です。

焼肉チェーン店で生肉のユッケを食べた人原因は腸管出血性大腸菌の「O111(オーイチイチイチ)」。亡くなった方もいます。

平成八年にカイワレ大根に付着したO157(オーイチゴナナ)による食物中毒事件が発生。それを契機に新たな規制やルールが定められ、食肉の取り扱い方法もその一環として決められました。しかし、それが必ずしも守られていないことが判明。

具体的には、大腸菌などの付着を取り除くトリミング作業を十分に行っていないかったり、生肉として消費者に販売する場合は「生食用」と表示して取引するルールを守っていない業者があることが明らかになりました。

今後は、食肉とくに「生食用」の生肉の衛生基準をより厳格にするとともに、処理方法、保存方法のルールを守らない場合には罰則を

課さざるを得ません。腸管出血性大腸菌は、健康な牛の内臓の中に普通に存在している菌です。したがって、食肉には菌が付着している可能性は常にあるため、衛生基準、保存方法、処理方法等を定めています。

業者の皆さんにはルールを守って頂くことをお願いする一方、消費者の皆さんには「生肉は必ずしも安全ではなく、生肉を食べることは推奨されていない」ということを改めてご認識ください。

蒸し暑い季節になると、ますます衛生面に注意が必要です。食生活には十分にお気遣いください。

※

耕平



かわら版執筆者 大塚耕平

1959年生まれ。日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。その後、旭ヶ丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年間勤務。2001年から参議院議員。現在2期目。地元覚王山に事務所を開き、故郷覚王山の地元振興と歴史・文化遺産の継承・復興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で、足かけ10年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は、早稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

鳩山内閣、第1次菅内閣で内閣府副大臣を務める。2011年1月、菅改造内閣の厚生労働副大臣に就任。

毎月21日、覚王山日泰寺は
「弘法さん」

「かわら版配り」ボランティア募集!

21日の8:40~10:30頃山門へおいでください。

お問い合わせ:052(757)1955 大塚耕平事務所(黒田/佐久間)

